

鶴舞公園 ハナショウブ

(公財)名古屋まちづくり公社 景観整備アドバイザー 野田 展葛

鶴舞(つるま)公園は、明治42年に名古屋市が設置した最初の公園で、JR駅南の正面入口からヒマラヤスギの並木、噴水塔、奏楽堂と続くピスタは、整形式洋風庭園の特色を見事に表現しています。

鶴舞公園には名古屋の近代化を象徴する三つの歴史的建造物があります。

- ①噴水塔 明治43年建造、名古屋市指定文化財、名古屋市都市景観重要建築物等
- ②普選記念壇 大正3年建造、名古屋市指定文化財、名古屋市都市景観重要建築物等
- ③奏楽堂 明治43年建造、平成9年に建造時と同じデザインで復元

※都市景観重要建築物等とは、都市景観の形成上重要な価値があると認める建築物等として名古屋市都市景観条例第24条に基づき指定されたものです。

鶴舞公園には90種2万株のハナショウブが栽培され、多くの方が鑑賞に訪れます。高原などに咲くノハナショウブ (*Iris ensata* var. *spontanea*) は、丈夫で結実・発芽しやすく古くから多くの園芸品種(ハナショウブ)が作られてきました。ハナショウブは、江戸時代に日本で育種、改良され、独自の発展を遂げた「古典園芸植物」のひとつで、江戸系、伊勢系、肥後系、長井古種の4系統があります。

今、いまハナショウブが見頃です。ぜひ鶴舞公園にお出かけ下さい。鶴舞公園の歴史を体感していただくとともにハナショウブの歴史にも触れてみて下さい。6月8日~17日には、緑化センターでハナショウブ展が開催されます。



ハナショウブ(26.6.4)



噴水塔(26.6.4)



普選記念壇(26.6.4)



奏楽堂(26.6.4)

お出かけは

地下鉄鶴舞線鶴舞公園駅下車

JR 中央線鶴舞駅下車